

# 令和7年度事業報告

国分寺市シルバー人材センターでは、令和6年3月に策定された、第4次中期計画に定める目標達成に向けて令和7年度事業計画を策定し、その目標達成に向けて各種事業を推進してまいりました。

この計画では、「会員の増強」、「就業機会の拡大」、「安全就業の徹底」の3施策を重点に取り組むことを基本方針として進めてまいりました。「会員の増強」では、新たな広報媒体の活用やイベントの実施に取り組むこと、「就業機会の拡大」では、市役所関連業務の拡充の働きかけのほか、就業情報の提供や各種研修情報の提供に努め、「安全就業の徹底」では、安全管理委員会の巡回指導、各種研修の実施のほか新たに緊急対策として「安全管理緊急対策部会」を設け安全対策に取り組んでまいりました。

また、令和7年4月には、改正公益認定法の施行と令和6年11月に施行されたフリーランス法に伴い、国分寺市発注の公共事業については新たな契約方式へと変更し、10月からの最低賃金の見直しの時期に合わせて、公共・民間ともに配分金の額を変更する仕組みへと変えることができました。その結果として、当年度の実績としては、令和6年度の請負契約3億902万5,048円を上回る3億2,072万9,471円となり、会員数についても、前年の700人を上回り、752人となり4年連続で700人台を維持することができました。事業の実施結果の詳細については、以下に記載のとおりとなりました。

## 【重点項目の取り組み】

### 「会員の増強」

今年度においても会員増強を重点課題と位置付け、多様な媒体を活用した広報の強化に取り組みました。具体的には、ぶんバス車内アナウンスの導入、ぶんバス時刻表および暮らしのガイドへの掲載、市役所庁舎内デジタルサイネージの活用、リーフレット内容の見直しを実施し、継続的かつ効果的な情報発信体制の構築を図りました。

また、国分寺市役所をはじめとする公共施設におけるポスター掲示およびチラシ配架について、従来の期間限定から通年実施へと運用を見直しました。さらに、スーパー、金融機関、郵便局等へ掲示場所を拡大したことにより、日常生活の導線上における接触機会を増加させ、幅広い層の市民に対する周知を図りました。加えて、PRイベントとして開催したシルバーフェスティバルには250名の方にご参加いただきました。

国分寺駅コンコース、国分寺まつり、福祉センターまつり、保育補助・子育て支援講習会等の各種イベントにおいては、チラシおよびウェットティッシュ等の配布物を作成し、合計800枚配布するなど、対面によるきめ細かな周知活動を展開しました。さらに、12月1日および2月1日には会員募集チラシを市報に折り込み、市内全戸へ配布しました。

全戸配布の実施回数を増やしたことで周知効果が高まり、説明会参加者数は各回10～15名程度と、前年度と比較して増加しました。その結果、新規入会者数の増加につながり、会員数は700名から752名と純増しました。これらの取組により、会員募集の周知と入会促進の双方において効果をあげることができました。

### 「就業機会の拡大」

当センターでは、就業機会の拡大に向け、会員の就業ニーズを的確に把握し、迅速かつ継続的なマッチングを実現する体制の強化に取り組みました。入会時には就業希望内容の丁寧な確認を徹底し、全職員で情報を共有することで、希望職種ごとに担当職員が速やかに聞き取りや就業紹介を行う仕組みを整備しました。これにより、スピード感のある就業支援や就業体験の提供が可能となり、多様な業務へのマッチングが促進されました。

また、安全で働きやすい環境づくりとして、熱中症対策の空調服の貸与に加え、福祉家事援助や学校トイレ清掃等の就業会員向けには、前年度新たに導入したエプロンを引き続き貸与し就業イメージの向上に努め、さらには、交通量の多い現場で就業する会員向けには、前年度デザインを刷新した安全ベストを引き続き貸与し、視認性の向上と安全の確保を図りながらユニフォーム面での改善に努めました。

さらに、依頼件数が多い一方で従事会員が不足していた除草作業については、作業内容や環境を分かりやすく伝えるチラシを作成・配布し、就業イメージの明確化を図ることで新規会員の確保に努めました。加えて、市報10月1日号の特集記事やホームページ等でのPRを強化した結果、「シルバー人材センターには多様な仕事がある」との認知が広がり、入会希望者からの問い合わせや派遣契約の増加につながりました。

これらの取組により、会員の希望に応じた就業機会の創出と、多様な業務へのマッチングの拡大を着実に進めることができました。

### 「安全就業の徹底」

事故防止や安全教育に係る注意喚起については、毎月第3水曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を実施しました。巡回指導の中において、就業会員に「安全点検チェックリスト」による聞き取り調査を実施するとともに、「KYシート」や「安全心得10ヶ条」を用いて、安全就業及び事故「ゼロ」の取り組みを推進しました。安全に係る講習会やその他の取り組みについては、熱中症や転倒予防、交通安全をテーマに講師による講習会を実施するとともに、安全標語の募集を行い、安全就業意識の向上に繋げることが出来ました。また、事故防止措置の一環として、就業中の傷害事故に関する「傷害事故情報」を「安全就業だより」「安全推進だより」で周知しました。就業中の全会員に事故「ゼロ」の啓発を行いました。今年度の当センター傷害事故件数は目標値を大きく上回り12件となりました。前年度は、都内58センター中、トップク

ラスとなってしまった事を踏まえ、安全管理委員会をバックアップするため安全管理緊急対策部会を立ち上げました。「安全巡回指導の注意喚起の強化」と、「より多くの会員が受講できる安全講習会の機会の拡大」「安全標語に係る応募数と投票数の拡大」を通して、今後も引き続き、会員の安全就業意識を高める取り組みを実施することに努めて参ります。

### 令和7年度重点数値目標に対する結果

目標数値	目標値	実績値	目標値に対する達成率
会員数	760人	752人	98.9%
女性会員数	265人 35%以上	259人 女性会員比率 34.4%	97.7%
就業率	80%	70.3% (派遣を含む)	87.9%

### 令和7年度事業規模の予測値（目安）に対する結果

予測値（目安）	予測値	実績値	達成率
受託契約件数	5,260件	4,699件 (内派遣162件)	89.3%
契約金額	30,470万円	33,702万円 (内派遣16,291,889円)	110.6%
就業延べ人数	10,700人	13,878人 (内派遣323人)	129.7%

請負の就労実人員 505人、派遣の就労実人員 41人（うち17人請負と兼務）

上記の結果のうち、本年度から包括的契約により契約を行った実績は次のとおりとなりました。

- ① 包括的契約に係る受注件数 636件（市の公共事業のみ）
- ② 包括的契約に係る会員業務委託料及びセンター業務委託料

項目	実績値
包括的契約に係る業務委託料	212,107,203円
会員業務委託料	183,029,002円
センター業務委託料	12,870,321円
材料費等	16,207,880円

## 就業

- ◆シルバー人材センターの認知度が向上し、業務の依頼件数が向上するよう努めました。
- ◆会員が積極的に就労し、ミスマッチの業務が減少し市民等発注者の信頼と満足感が得られるよう努めました。
- ◆会員の就労を通じた生きがいを実現されるよう努めました。

就業にチャレンジしやすい環境を整えるよう努め、親しみやすい就業環境を整えるよう努めました。また、市民ニーズにこたえられるよう会員とのマッチングに努めたほか、派遣事業を推進しました。

### 就業分野の指標に対する結果

指標 / 実績	目標値	実績値	達成率
研修受講者数 目標会員数の10%以上	76人	21人	27.6%
職群ごとの新たな就業者	増加	微増	
就業率	80%	70.3%	87.9%

### 就業分野における取り組み内容と結果

- ・会員増強と就業機会の拡大に向けて入会説明会を実施。  
福祉センター13回、本町南町地域センター3回、ひかりプラザ3回、cocobunji プラザ1回、くにたち・

- こくぶんじ市民プラザ1回 計21回開催
- ・国分寺駅南北通路内 PR 活動1回
- ・会員増強キャンペーンを通年に変更し実施 PR 不足の為、例年より大きく下回り3名の入会のみ
- ・ホームページ・WEBによる入会説明会参加申し込み HP年間アクセス数72,080件 入会説明会 WEB 申込70件
- ・就業募集に対するアプリからの申込27件
- ・職班会議等の実施：植木5人、除草21人、家事援助17人、学校管理54人、市報等配布63人、学校トイレ清掃14人、ひかりプラザ5名
- ・財団主催の研修等の受講 調理0人、家事援助1人
- ・入会手続き終了後に、会員に向けて希望職種の求人情報を個別に紹介しました。
- ・保育・育児支援分野について、より具体的でわかりやすい就業情報を作成し応募者増に繋がりました。
- ・研修等については、前年度と比較してみても新たな会員の参加が進んでいないことが課題となりました。
- ・就業前の実習体験を実施しました。グリーンキーパー5人、除草1人、家事1人、学校11人、トイレ清掃3人

### 【派遣事業の実施状況】

受注件数	実人員	延日人員	契約金額	賃 金	事務委任 手数料	事務委任 手数料 (財団)
40件	41人	2,856日	16,291,889円	12,473,041円	3,818,848円	1,922,966円

(実人員のうち、17名は請負業務と兼務)

- ・保育補助分野における就業促進のため、東京しごと財団の講習担当係との共催により、厚生労働省委託高齢者活躍人材確保育成事業技能講習「保育のお仕事講習会」を令和7年10月21日に開催いたしました。当日は28名の方にご参加いただき、保育の仕事に関心を持つ市民の方々へのより具体的な情報提供および講習を行い、7名の入会、4名の就業に繋げることができました。
- また、令和7年11月12日に合同園長会にてシルバー事業のPRのお時間をいただき、派遣・請負において、保育・幼稚園での人手不足の一助となるご提案をし、新たなご依頼に繋がりました。
- また、保育補助分野に加え、スーパー業務分野、事務補助分野をはじめとする人手不足分野においても契約件数が増加し、就業機会の拡大と事業規模の拡大を実現し、昨年度の実績を大きく上回る成果を上げることができました。
- 課題となっていた発注者様より多くのご相談をいただいているにも関わらず、就業可能な会員が不足しているため、派遣をお待ちいただいていた状況についても、徐々に改善することができました。引き続き会員の増強・就業会員の育成と、発注者様との円滑なマッチングに努めてまいります。

## 安全

第4次中期計画の安全分野として定めた第4次安全対策基本計画（安全対策推進計画を含む。）に則り、会員の安全意識の向上と事故発生件数ゼロを目指しました。  
\*令和6年度安全管理活動実施計画により事業を推進しました。

安全に関する分野では、第4次中期計画の中で定めた「安全対策基本計画」に基づき、就業環境の改善及び各会員の安全意識向上を促進することにより、会員の就業中及び途上での事故防止に全力を上げて対策をしてきました。しかしながら、安全目標としてきた傷害事故・賠償事故件数を5件以下とし、自動車事故を0件にするということは達成することができませんでした。

### 安全分野の指標に対する結果

指標 / 実績	目標値	実績値	達成率
研修受講者数	125人	119人	95.2%
傷害事故、賠償事故の発生件数	5件以下	傷害事故11件 賠償事故7件（自動車事故3件を含む）	
自動車事故1件以下	1件以下		
安全大会の開催	実施に向けた調査研究		

## 安全分野における取り組み内容と結果

### 安全に係る講習会及びその他の取り組み等

- ① 熱中症被害防止のため、(株)フジワーク・(株)昭和商会の方を講師として、熱中症対策と空調服の活用方法をテーマに「熱中症予防講習会」を令和7年5月21日に開催し34名参加。
- ② また、前月の就業会員向け、「熱中症注意喚起文」を7月から9月にかけて、SMSで配信。
- ③ 安全管理体制の強化の一環として、施設管理の就業会員向け、「AED講習会」を令和8年2月25日に実施し、18名参加。
- ④ 就業中の転倒事故防止対策として、財団の安全活動強化支援員を講師として「転倒予防講習会」を令和8年1月30日に開催し、33名参加。
- ⑤ 講習会については、30名～40名を目標に募集を行いました。地域協力員による案内の配布やホームページへの掲載、窓口や電話連絡等での声掛けを地道に行い、定員以上の参加者となりました。事故件数が依然として減少せず、安全あつての就業であるということ、引き続き訴えていく必要があります。

### 事故防止措置

- ① 就業中の傷害事故に関する「傷害事故情報」を「安全就業だより」「安全推進だより」で周知し、就業中の全会員に事故「ゼロ」の啓発を行いました。事故発生の傾向としては、転倒事故が最も多く、就業会員に対する事故発生率は依然として高い水準となっています。自転車に係る事故も発生しているため、自転車利用者向けのチラシ配布やヘルメット着用の啓発を引き続き行っていきます。

### 安全管理教育

- ① 毎月第3水曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を合計12回実施し、就業会員に「安全点検チェックリスト」による聞き取り調査を実施するとともに、「KYシート」や「安全心得10ヶ条」を用いて、安全就業及び事故「ゼロ」の取り組みを推進しました。
- ② 安全管理委員会として、第6ブロック主催の安全管理に係る研修会や講習会に参加。
- ③ 令和8年度の「安全標語」について、財団は「転倒予防と健康管理」センターは「身の回りにおける危険と事故防止について」を標語のテーマに設定して11月より募集を行いました。
- ④ 自転車事故防止対策として、小金井警察署員を講師として「自転車交通安全講習会」を令和8年2月19日に開催し、34名参加。

### 健康維持

会員自身が就労等を通じて、生きがいの充実、健康の保持増進、地域社会の活性化に努め、医療費・介護保険費用の抑制などに貢献するよう努めました。

健康で安全な就業を実現するためには、自己管理の基礎となる「学ぶ機会」が不可欠であることから、健康イス体操等の健康に関するイベントの実施のほか、センターが発行する広報誌、ホームページ等で、健康に関わる情報の発信を行い、会員の健康維持につながる支援をするため、健康情報の提供・健康知識の向上に努めました。また、健康な状態で、就労するためには、会員自身が自身の健康状態や変化を日ごろから認識することが必要なことから、自身の健康状態に意識が向くよう就業報告の提出にあわせて健康セルフチェックを推進しました。

### 健康維持分野の指標に対する結果

指標 / 実績	目標値	実績	達成率
セミナー等の実施回数	1回以上	1回	100%
イベントへの参加人数	30人以上	46人	153.3%

### 健康維持分野における取り組み内容と結果

- ・令和8年1月16日にシルバーフェスティバルを開催。健康運動指導士の奥山雅平氏を講師として「シニアのための健康いきいき！！ちょけん体操」を実施し46名が参加。例年にないほどの多くの来場者があり、参加者の満足度も高くなり、各委員会と事務局が一丸となって取り組むことが出来たイベントとなりました。
- ・体力測定については、実施出来ませんでした。
- ・令和7年度より、会員の健康意識の向上を図るため、就業報告書の裏面に健康にまつわるセルフチェック項目を記載し、就業報告毎に確認できるようにいたしました。

自主活動

地域班制度の見直しを行い、地域班親睦会に代わる会員相互の交流支援を推進しました。同好会やボランティア活動等をとおして、会員自らが自発的に繋がる機会の創出を進めました。

同好会・サークル活動の発足支援し、活動内容の周知を図り、各同好会・サークルの登録者が増え、交流と親睦が図れるよう、会員の独自活動を支援しました。また、国分寺市への空き家情報の提供のほか、黄色い腕章運動に参加地域の見守りを推進しました。

自主活動分野の指標に対する結果

指標 / 実績	目標値	実績	達成率
サークル等の数	5	5	100%
登録者数	100人	96人	96.0%
参加者数	増加	増加	達成
発足したサークル等の数	1	1	100%
ボランティア参加者数	20人	※92人	460%

※内訳 「空き家情報ボランティア」83人 「黄色い腕章活動」4人 「子供110番の家」2人 「学習支援ボランティア」3人

自主活動分野における取り組み内容と結果

- ・市報配布会員による「空き家情報ボランティア」を実施し、参加者は83名が参加。26件の空き家情報を市に提供しました。
- ・国分寺市社会福祉協議会と令和5年に協定を締結した地域支え合い活動ボランティア(黄色い腕章活動)について、引き続き会員に募集を行いました。
- ・市立第10小学校の5年生の家庭科の授業8コマに、手作りサークル「はな」が学習支援ボランティアとして参加し授業の支援を行いました。
- ・令和7年11月2日に国分寺まつりに参加。今年は初となるテント二張りで参加し、「手作りサークルはなによる小物販売」「佐渡市の利き酒」を行いました。理事・職員が一丸となって運営を行い、大盛況となりました。
- ・令和8年1月16日にシルバーフェスティバルを開催。ゲストとして混声合唱団青春隊を招いて演奏会「みんなで楽しむ冬の音楽祭」を実施し170名が参加。演奏会終了後には、佐渡の日本酒の利き酒体験を行い45名が参加。コロナ渦前の盛大なシルバーフェスティバルの賑わいを思わせる来場者数に戻ってきており、参加者の満足度も高くなりました。総務・事業・安全管理の各委員会と事務局が一丸となって取り組むことが出来たイベントとなりました。
- ・新たに健康ボウリング同好会が発足することとなり、4月発行の「センターだより」で会員に周知する準備を進めました。

組織

会員、就業、財務、会計経理を管理する電算システム（エイジレス）を基本に、その他ICTの活用により時代に即した効率的で効果的なセンターの運営の実現に努めてまいりました。また、会員との情報の共有を進めるため、高齢者特有のデジタル活用に対するギャップを埋め、ICT活用のスキルアップが図れるよう施策に取り組み、業務の効率化・経費の削減などに努めました。

令和7年度は、前年度のセンター設立45周年行事に続き、総会と音楽イベントを同時開催し、国分寺市立いずみホールにおいて第15回定時社員総会の後、第二部として「クローバーコンサート」を実施しました。また、令和6年11月からのフリーランス法本格実施に合わせ、令和7年4月から国分寺市発注の公共事業について新たな契約方式へ移行し、民間業務についても令和8年4月からの導入を目標に準備を進めました。あわせて、事務局業務の効率化を図るためネットワーク環境の整備やICT活用の改善を進め、会員に寄り添ったICTスキル向上にも取り組みました。受託業務においては質の維持と会員の

業務レベル確保に努め、隔年実施の「ご利用者アンケート」では「満足・どちらかといえば満足」が大半を占め、「不満・やや不満」「悪い・どちらかといえば悪い」はゼロ%という良好な結果となりました。さらに、令和7年4月施行の改正公益認定法に則り、公益法人として適切なガバナンスとコンプライアンスを徹底し、公正・公平な業務運営を推進するとともに、会員に寄り添ったセンター運営のため自主活動の支援を行いました。加えて、会員相互の連携強化や積極的な就労斡旋を進め、希望職種以外にも挑戦できるよう研修やリスクリングの機会を設けて周知を図り、会員が活躍できる場の拡大に努めました。

### 組織分野の指標に対する結果

指標 / 実績	目標値	実績	達成率
Smile to Smile の登録者数	増加	減少	未達成
デジタルデバインド対策の実施数	随時実施	講習会 6 回 その他随時	達成
拠点施設移転の準備	移転資金等の備蓄	移転資金等の備蓄	
他市センターとの連携回数	1 回以上	0 回	未達成

### センター自主活動分野における取り組み内容と結果

- ・ 会員の就業環境の改善を図り会員の生命と安全を守るため、前年度末に購入した空調服等を令和7年4月より順次会員に貸与をしました。
- ・ 資料や配布物等に視覚的効果を持たせ、情報の発信力を向上させるため、リニューアルした印刷機の活用により、センター発行の印刷物の多色化を行いました。
- ・ Smile to Smile の利用推進を図るため、6 回のアプリ利用研修を行いました。登録から活用方法までを網羅して研修を行ったことで、デジタルデバインドの対策を推進し効果を上げることができました。登録者数は減少したものの、配分金明細の確認だけではなく、業務仕様の明示や連絡等に活用し、効率的な運用に努めました。

#### ・ 開催イベント等

- 定時社員総会后コンサート 1 回（6 月 19 日）
- シルバーフェスティバル 1 回（1 月 16 日）
- 国分寺まつり 1 回（11 月 2 日）【手作りサークルはなの小物販売】【佐渡市の利き酒】
- 福祉センターまつり 1 回（11 月 23 日）

### 組織体制の強化

#### ・ 会議の開催

名称	開催回数等
総会	令和7年第15回定時社員総会、第二部：クローバーコンサート
理事会	定例理事会 12 回開催 臨時理事会 1 回開催
三役会議	定例三役会議 12 回開催
総務委員会	10 回開催（6 月、8 月を除く）
事業委員会	10 回開催（6 月、8 月を除く）
安全管理委員会	3 回開催（うち 2 回は、安全支援員との合同会議）

#### ・ 職班会議等

- 家事援助コーディネーター会議 6 回（5 月 9 日、7 月 11 日、9 月 12 日、11 月 14 日、1 月 9 日、3 月 25 日）
- ひかりプラザ夜間管理 2 回（9 月 22 日、3 月 9 日）
- 植木班班長会議 1 回（1 月 9 日）
- 学校管理員 2 回（3 月 25 日中学校・3 月 27 日小学校）
- 除草班職班会議 1 回（3 月 26 日）
- 市報配布職班会議 1 回（3 月 6 日）
- 家事援助職班会議 1 回（3 月 25 日）
- 学校トイレ清掃職班会議 1 回（3 月 13 日）
- 除草班長会議 6 回（4 月 15 日、6 月 17 日、8 月 19 日、10 月 21 日、12 月 16 日、2 月 19 日）